

第3回 国際保険流通会議 in 東京 2014

～情報共有で、経験を生かした明るい未来を創る～

日時：2014年9月20日(土)

会場：東京国際フォーラム

ホールD7 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

主催：日本青年会議所保険部会
国際保険流通会議実行委員会

後援：一般社団法人日本損害保険協会
一般社団法人生命保険協会
一般社団法人日本損害保険代理業協会
一般社団法人日本保険仲立人協会

世界では、地震などの災害やテロ、新型インフルエンザなど、様々な広範囲で甚大な被害をもたらすリスクが発生し、被害とその影響は年々と大きくなっています。我々は一度起きた被害を決して無駄にはならず、そこから得た経験や知識、知恵をまだ被害にあっていない人々に対して伝え共有することで、リスクを回避することや被害を縮小させることが可能だと考えます。

また、保険に関して、保険金の支払いや保険の開発等についても経験を共有していくことで、迅速に動くことが可能となり、消費者にとって更なるメリットを与えられると考えています。

保険業界は、リスクに対してファイナンスを考える業界であり、消費者とリスクを通じて繋がっています。消費者に近い保険流通に関わるものは、消費者に対してリスクに対する対応を呼びかけることができるとともに、リスクから消費者を守る責任があります。

このことは、万国共通であり、国際保険流通会議では、世界各地で経験したことを有し、被害が起こる前からの事前対策から有事の際の対応について、対応レベルの向上、保険流通関係者の社会的存在価値の向上を継続的に行っていくことを目的としています。今回は、日本において、これから懸念される様々なリスクに対して、今後、日本がどのような方向へ具体的にに向かっていくのか、企業や国民は何をすべきなのか、国の政策等を学び、世界各国で経験した災害等の経験や政策・対策を知り、保険業界は今後何をすべきかを考え行動する場として企画されています。

プログラム

9:10	受付開始	
9:40 - 9:45	主催者挨拶	
これからの日本 ～ 今後の日本と必要な準備 ～		
9:45 - 10:30	保険毎日新聞社 記者 森 隆 氏	過去の経験を活かす～我々が忘れてはいけないもの～
10:30 - 11:30	防衛省陸上幕僚監部 運用支援・情報部長 陸将補 原田 智総 氏	災害などを想定した行動と計画の考え方
11:30 - 12:30	昼食休憩	
世界各国で起こっていること		
12:30 - 13:15	日本貿易振興機構 (ジェトロ) マニラ事務所 石川 雅啓 氏 Masahiro ISHIKAWA(Mr.) Director	フィリピン台風による高波・高潮災害における 実態と対策 その他、アジアにおける自然災害の状況
保険の販売チャネルの役割と可能性		
13:15 - 14:05	のぞみ総合法律事務所 弁護士 吉田 桂公 氏 (元金融庁検査局専門検査官)	保険代理店の態勢整備とBCPとの関わり
14:05 - 14:20	休憩	
14:20 - 14:55	経済産業省中小企業庁 事業環境部 経営安定対策室長 大槻 宏実 氏	中小企業におけるBCPの役割と効果について
14:55 - 16:25	一般社団法人日本損害保険協会 法務・リスク管理部長 杉田 純一 氏 一般社団法人日本損害保険代理業協会 会長 岡部 繁樹 氏 一般社団法人日本保険仲立人協会 理事長 平賀 暁 氏 (マーシュ プロローカー ジャパン株式会社 代表取締役会長) 経済産業省中小企業庁 事業環境部 経営安定対策室長 大槻 宏実 氏 のぞみ総合法律事務所 弁護士 吉田 桂公 氏	パネルディスカッション 保険業界のBCP 保険業界のやるべきこと。態勢整備と併せて。
16:25 - 16:30	閉会挨拶	

参加者・定員・参加費

参加者：国内外問わず保険流通に関わる方／定員：200名（定員になり次第終了）／参加費：一般 ¥6,500 部会メンバー ¥5,000

第3回国際保険流通会議 in 東京 2014 会議参加 FAX 申込書 【FAX: 03-5783-1509】

会社名	参加者名	(一般・部会メンバー)
住所 〒	E-mail	
TEL	FAX	